

【新刊刊行のお知らせ】神田外語大学 遠藤美幸 著 『戦友会狂騒曲〔ラプソディー〕』

神田外語大学(千葉市美浜区／学長：宮内孝久)の遠藤美幸講師による新刊で、2019年に岩波書店の『世界』で連載された『戦友会狂騒曲〔ラプソディー〕』が、2024年7月29日(日)に刊行されました。一般的に「戦友会」と聞くと、戦争を懐かしむ高齢者の集まりというイメージを持たれるかもしれませんが、本著はその先入観を超えた、予想外の一面を描き出します。元兵士たちの複雑な人間関係、保守的な価値観に押し寄せる若者たちとの対立など、「戦友たち」の最晩年を20年にわたり見つめ続けた研究者による、渾身のレポートです。

書籍紹介

元兵士たちの戦後を共に歩く。遺族などの関係者でもなく、靖国神社にもむしろ違和感をもつ筆者が、なぜか老人たちの集まる戦友会の「お世話係」を担うことに。ガダルカナル戦やビルマ戦を経験し、「強兵」として知られた東北・第2師団の戦友会で語られる苛烈な戦場体験。複雑な思いを持つ老人たちを脇に、「聖戦を戦った英雄」と持ち上げる保守系の若者たちが押し寄せてきて……。

書名：『戦友会狂騒曲〔ラプソディー〕』

著者：遠藤美幸 講師

発行：地平社

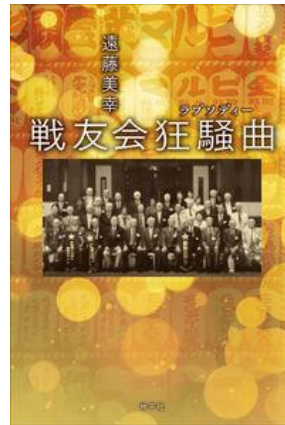
体裁：四六判並 176 ページ

価格：本体 1980 円(税込)

発売：全国書店

発売日：2024年7月29日(月)

I S B N : 978-4-911256-07-7 C0021



目次

- ◆第1章 変調をきたす「戦友会」
- ◆第2章 若者たちの「来襲」
- ◆第3章 老兵、戦争のホンネを語る
- ◆第4章 「武勇伝」の裏側
- ◆第5章 戦友なきあとに
- ◆終章 不戦こそ慰霊

著者紹介

遠藤美幸(えんどう・みゆき)

1963年生まれ。イギリス近代史、ビルマ戦史研究者。神田外語大学・埼玉大学兼任講師(歴史学)。不戦兵士を語り継ぐ会(旧・不戦兵士・市民の会)共同代表、日吉台地下壕保存の会運営委員、日本ミャンマー友好協会理事。2002年から元兵士の戦場体験を聴き続けている。著書に『「戦場体験」を受け継ぐということービルマルートの拉孟全滅戦の生存者を尋ね歩いて』(高文研)、『なぜ戦争体験を継承するのかーポスト体験時代の歴史実践』(共著、みずき書林)、『悼むひと』(生きのびるブックス、2023年)、『戦争のかけらを集めて』(共著、図書出版みぎわ、2024年)などがある。



参考

【神田外語大学 HP】

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>

【地平社 著書紹介】

<https://chiheisha.co.jp/2024/07/12/9784911256077/>

※本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園(神田外語グループ) グループコミュニケーション部 担当：三上山 雄亮
TEL:03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 E-mail: media@kandagaigo.ac.jp

※神田外語グループ公式 Twitter(X)アカウントはこちら：@kandag_official

